

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。2000年になり四半世紀が過ぎました。この四半世紀の間に、公衆衛生の分野は多くの課題に取り組んできました。東日本大震災では、地域社会の復興と健康支援の在り方が問われ、そしてCOVID-19のパンデミックでは、私たちの知識、協力、そして柔軟性が試されました。こうした経験は、私たちに公衆衛生の重要性を再認識させるとともに、新しい挑戦に備えるための学びを与えてくれました。このような皆様の活動の成果を公衆衛生雑誌で共有することで、多くの方々に刺激を与え、さらなる発展につなげていければと思っております。

72巻1号には、「総説」1編、「原著」2編、「公衆衛生活動報告」2編、「資料」1編の計6編と多様な種類の論文が掲載されました。いずれも多様なテーマを扱った意義深い論文です。

安岡らの「総説」では、日本人を対象とした座位行動の評価方法や座位行動と健康アウトカムとの関連について文献を検討しました。その結果、座位行動が死亡・循環器疾患・がんのリスク因子であること、さらに座位行動が健康アウトカムに与える影響に関するエビデンスが蓄積されつつあることが報告されました。

大山らの「原著」では、自殺予防のため介入地区において2013年から保健師による全戸訪問型の簡易ゲートキーパー教育を行い、対照地区ではリーフレットのみを配付し、その成果を2015年と2021年に両地区の40～79歳住民を対象とした質問紙調査で評価しました。その結果、介入地区では簡易ゲートキーパー教育が自殺容認態度を示す者の割合低下と関連しており、介入による中高年の自殺への態度変容が期待されました。五味らの「原著」では、ソーシャルマーケティングの要素であるマーケティング・ミックスの4Pのフレームワークを用いて、全国の会食を行う通いの場を対象とし、2019年に参加者減少の要因に関する調査を行いました。その結果、4PのうちProduct, Promotion, Placeに含まれる要因が参加者減少と有意に関連し、Priceには有意な関連はみられませんでした。参加者減少に有意に関連したのは参加登録制や65歳以上の人口比率が高いこと、参加者減少の抑制に有意に関連したのは開催頻度が多いことや人口密度が高いことでした。

中川らの「公衆衛生活動報告」では、新潟市において対話を取り入れた自殺予防ゲートキーパー養成研修を実施し、2018～2022年度の研修参加者を対象に調査を行いました。研修参加後、受容的な対応や他機関との連携に関する困難度が低下したと回答する者が増加し、自由記述でも対応や連携に関する理解の深化が挙げられていました。野藤らの「公衆衛生実践報告」では、埼玉県シ

次号予告 (第72巻・第2号)

原著

在宅高齢者の転倒・転落に関連した器物・設備およびその使用方法別受傷率：救急活動記録を用いた算出……………清水鉄也，他

公衆衛生活動報告

医療法に基づく病院立入検査の書類審査と実地検査の比較：新型コロナウイルス感染症流行期の大阪市の例……………檜垣史郎，他
生活保護受給者の健診受診ならびにワクチン接種と社会的孤立の関係性の検討：仙台市泉福祉事務所の事例……………林 慎吾

資料

理学療法士における災害時の避難者対応に関する用語を知っていることおよび個別避難計画の平時の活用について……………森山信彰，他
役割ストレスラーが一次的評価を通じて不安、抑うつ、主観的well-beingに及ぼす影響……………金子信一，他
限界集落の離島に在住する高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることへの思い……………吉田美由紀，他

ルバー人材センター連合本部と東京都健康長寿医療センター研究所が、2018年よりシルバー会員が仕事として対価を得ながらフレイル予防教室の運営を担うモデル事業を行い、シルバー職員を対象に普及可能性を評価しました。その結果、県内58シルバーのうち半数以上のシルバーが事業を実施し、40%のシルバーが対価を伴う形で実施、事業を実施したシルバーの75%が事業を継続したことから同モデルの他地域への普及可能性が示されました。

杉原らの「資料」では、横浜市の1歳6か月児および3歳児を対象とした乳幼児健康診査を受診した児の言語発達状態と関連因子を検証しました。その結果、1歳6か月時点の言語発達が出生順位、分娩時の妊娠週数、母親の出産年齢と関連していることが示唆されました。

以上の論文をテーマ別に分類すると、座位行動1編、自殺予防2編、高齢者の健康増進2編、乳幼児健康診査1編となります。本号では多様な種類・テーマの論文が掲載されており、実践や研究の積み重ねが評価・検討されています。どの論文も読み応えがあり、実践や研究への新たな発想や先駆的な取り組みに大いに刺激を受けながら拝読しました。今後も、皆様の貴重な実践や研究成果の投稿を心よりお待ちしております。(鈴木良美)